

## PSA F / T比

参考判定基準をメーカー（アボットジャパン株式会社）推奨のカットオフ値に変更させていただきます。  
測定試薬の変更はございません。

なお、PSA値およびPSA-F / T比の数値評価につきましては、本検査結果のみではなく、臨床評価や症状、前立腺触診、経直腸的超音波検査など他の診断から得られる情報とともに、総合的なご判断をお願いいたします。

変更箇所	新	現行
基準値 (PSAグレードにおける前立腺癌診断の参考カットオフ値)	F / T比 26.0% 以上 (参考文献により設定)	F / T比 18.0%以上 (参考文献により設定)
	トータルPSAの範囲: 4 ~ 10 ng/ml において、 カットオフ値を「26.4%」としたとき、 前立腺癌に対する感度 : 96.0% (96/100) 非前立腺癌に対する特異度 : 27.4% (54/197)	トータルPSAの範囲: 2 ~ 20 ng/ml において、 カットオフ値を「18%」としたとき、 前立腺癌に対する感度 : 92.6% (25/27) 前立腺肥大症に対する特異度 : 56.7% (17/30)
参考文献	Vessella,R.L.,et al: Urology,55:909-914,2000.	武田悟,他:Prog.med.,21(9):2279-2283,2001.

\* PSA F / T比が低値ほど前立腺癌の確率が高くなります。